

2014年3月6日

～「ペットオーナーの防災対策意識調査」～

ペットの防災対策の実施率、地域によって変化が。 2012年と比べ東北エリアは、**約1.5倍！** 東海エリアは、**約2倍に！**

T&D保険グループのペット&ファミリー少額短期保険株式会社（東京都文京区、代表取締役社長：仲尾 孝）は、ペットを飼っている20～70代の男女1,214人を対象に、『ペットオーナーの防災対策意識調査』（インターネット調査）を実施しました。

「お住まいの地域で不安に感じている災害はありますか」と質問をしたところ、全体で5割以上（50.8%）の方が「地震」と回答しており、続いて「風水害」（27.0%）、「黄砂・PM2.5」（15.3%）という結果となりました。さらにエリアごとに調査したところ、不安度に差が見られ、「地震」においては、東北、関東、東海エリアの方の不安度が高く、東日本大震災の影響や今後南海トラフ地震等の大規模な地震が想定されるエリアの方の意識の高さがうかがえます。

また、「黄砂・PM2.5」に関しては、中国本土に近い西日本での不安度が高く、なかでも至近である九州・沖縄エリアの方の意識が高くなっています。

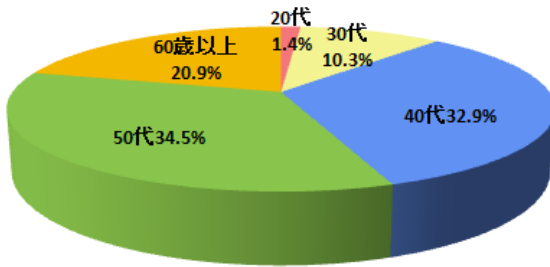
同時に、ペットのための防災対策に関してもアンケートを行っており、2012年の8月に実施した調査と比べ、「具体的な対策をしている」と回答している方が、全体平均では、2012年11.5%に対して、2014年12.2%と0.7ポイントの微増に留まるのに比べ、東北エリアは2012年5.8%に対して、2014年9.2%と3.4ポイント増加（2012年比158.6%）していることが分かりました。さらに東海エリアは2012年6.0%に対して、2014年12.7%と6.7ポイント増加（2012年比211.6%）となり、「地震」に対する不安度が高い地域において、ペットの防災対策の実施率が高まっていることがうかがえます。

2011年の東日本大震災以降も続く余震や今後想定される大規模地震などを意識して、ペットオーナーは自分自身のことはもちろんペットとの災害時・災害後の生活について、様々な対策を講じている姿が想像されます。東日本大震災からもうすぐ3年が経とうとしています。3月11日を迎えるにあたって改めて防災意識を高め、災害時に安心してペットと一緒に行動ができるように事前の準備をこころがけてはいかがでしょうか。

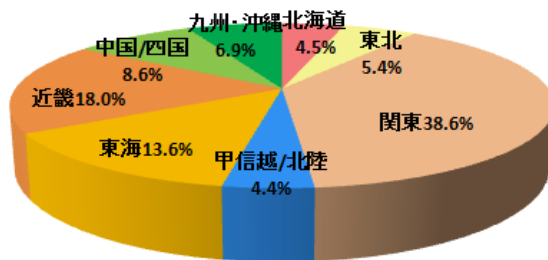
調査概要

- 調査対象：全国の20～70代の男女（ペットを飼っている方）
- 有効回答数：1,214サンプル（男性・830サンプル、女性・384サンプル）
- 調査方法：インターネットリサーチ
- 調査期間：2014年2月7日（金）～2014年2月9日（金）

調査結果概要



■ペットオーナーの年齢



■ペットオーナーの居住地域

■お住まいの地域で不安に感じている災害はありますか？（複数回答）

回答結果	エリア								全体平均
	北海道	東北	関東	甲信越・北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄	
風水害(台風・竜巻・豪雨・洪水等)	16.4%	27.7%	23.5%	51.9%	32.7%	26.6%	29.5%	23.8%	27.0%
雪害	34.5%	33.8%	3.4%	40.7%	1.2%	4.6%	4.8%	1.2%	8.0%
雷	12.7%	9.2%	10.3%	20.4%	8.5%	11.9%	9.5%	13.1%	11.0%
地震	30.9%	64.6%	57.7%	51.9%	58.2%	45.4%	41.9%	25.0%	50.8%
原子力災害	7.3%	20.0%	9.2%	14.8%	6.7%	5.0%	1.9%	8.3%	8.2%
津波	7.3%	13.8%	5.6%	5.6%	13.3%	9.2%	5.7%	9.5%	8.1%
噴火	10.9%	3.1%	5.1%	7.4%	4.2%	1.4%	1.0%	9.5%	4.5%
黄砂・PM2.5	5.5%	7.7%	12.6%	13.0%	10.9%	19.3%	19.0%	38.1%	15.3%
害虫	5.5%	6.2%	6.6%	18.5%	7.3%	7.8%	7.6%	10.7%	7.7%
不安に感じている災害はない	45.5%	20.0%	32.5%	14.8%	27.3%	33.5%	38.1%	32.1%	31.5%

「お住まいの地域で不安に感じている災害はありますか」と質問をしたところ、全体で5割以上（50.8%）の方が「地震」と回答しており、続いて「風水害」（27.0%）、「黄砂・PM2.5」（15.3%）という結果に。さらにエリアごとに調査したところ、「風水害」においては、各地域における不安度について大きな差異が生じていないのに対して、「地震」においては、東北、関東、東海エリアの方の不安度が高く、東日本大震災の影響や今後南海トラフ地震等の大規模な地震が想定されるエリアの方の意識の高さがうかがえます。また、「黄砂・PM2.5」に関しては、中国本土に近い西日本での不安度が高く、なかでも至近である九州・沖縄エリアの方の意識が高くなっています。

■あなたは現在防災対策をしていますか？

回答結果	エリア								全体平均
	北海道	東北	関東	甲信越・北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄	
対策をしている	16.4%	27.7%	32.5%	18.5%	29.1%	22.5%	10.5%	21.4%	25.9%
対策をしていない	83.6%	72.3%	67.5%	81.5%	70.9%	77.5%	89.5%	78.6%	74.1%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

「あなたは現在防災対策をしていますか」と質問したところ、防災対策を実施している方は、全体の25.9%となりました。エリアごとの実施状況を確認したところ、東北、関東、東海エリアの方の実施率が高く、「地震」に対する不安度が高い地域と符号しており、地震対策を中心に防災対策を行っている方が多いことがうかがえます。

■防災対策はどの程度十分だと感じていますか？

※十分できていると思う場合は10点、十分できていないと思う場合は0点で算出

北海道	東北	関東	甲信越・北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄	全体平均
5.6	4.9	5.1	5.0	4.5	5.2	5.1	4.8	5.0

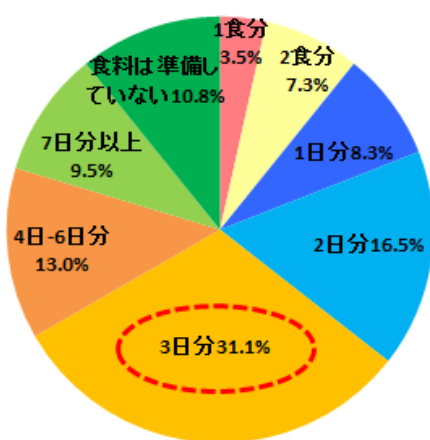
全体平均が5.0点となるなか、「不安に感じている災害はない」の回答が最も多かった北海道エリアが5.6点と最も高い点数となりました。一方、東北、東海、九州・沖縄の各エリアが平均以下の点数となりました。東北、東海エリアは「地震」、九州・沖縄エリアは「黄砂・PM2.5」と不安度が高い災害があることから、十分な防災対策が整っていないと判断される方が多いと考えられます。防災対策の達成感は災害に対する不安度と密接に関係しているようです。

■ご自身の防災対策として準備しているものを教えてください。（複数回答）

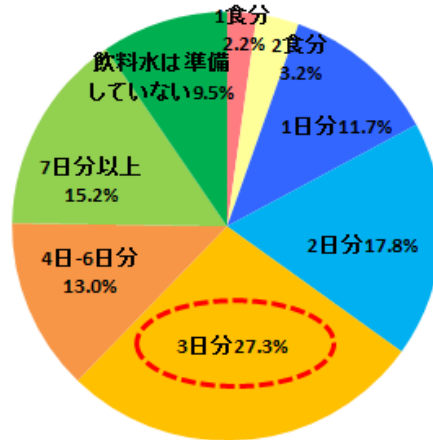
回答結果	エリア								全体平均
	北海道	東北	関東	甲信越・北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄	
食料・飲料水	88.9%	83.3%	92.8%	100.0%	89.6%	79.6%	54.5%	61.1%	86.7%
救急セット	66.7%	72.2%	71.1%	60.0%	68.8%	79.6%	45.5%	50.0%	69.5%
常備薬	55.6%	61.1%	63.8%	40.0%	47.9%	63.3%	36.4%	50.0%	58.4%
トイレグッズ	33.3%	27.8%	39.5%	50.0%	43.8%	32.7%	27.3%	11.1%	36.5%
マッチ・ライター・チャッカマン	44.4%	72.2%	65.1%	70.0%	52.1%	46.9%	45.5%	44.4%	58.4%
携帯ラジオ・テレビ	77.8%	94.4%	77.0%	80.0%	66.7%	73.5%	54.5%	38.9%	73.0%
ヘルメット	11.1%	27.8%	25.0%	0.0%	25.0%	20.4%	9.1%	22.2%	22.5%
懐中電灯・LEDライト	66.7%	100.0%	85.5%	80.0%	85.4%	75.5%	81.8%	83.3%	83.8%
ハンカチ・タオル	55.6%	50.0%	53.3%	60.0%	45.8%	42.9%	63.6%	50.0%	50.8%
マスク・軍手	55.6%	77.8%	73.7%	60.0%	72.9%	67.3%	63.6%	50.0%	70.2%
毛布	44.4%	44.4%	32.9%	40.0%	41.7%	28.6%	36.4%	22.2%	34.3%
その他	33.3%	27.8%	19.7%	10.0%	22.9%	20.4%	18.2%	11.1%	20.3%
準備していない	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	1.0%

「食料・飲料水」「懐中電灯・LEDライト」は防災対策を行っている方の8割以上が準備しており、防災対策の必需品と考えられます。

■準備している1人あたりの食料



■準備している1人あたりの飲料水



防災対策として準備している方が多い「食料品・飲料水」について、災害時の非常用備蓄として1人あたりのストック量を確認したところ「食料」「飲料水」とともに「3日分」が最多の回答という結果に。

■ペットのために具体的な防災対策をしていますか？

■2012年

回答結果	エリア									全体平均
	北海道	東北	関東	甲信越・北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄		
対策をしている	11.1%	5.8%	18.3%	8.2%	6.0%	9.6%	7.1%	6.7%	11.5%	
対策をしていない	88.9%	94.2%	81.7%	91.8%	94.0%	90.4%	92.9%	93.3%	88.5%	
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

■2014年

回答結果	エリア									全体平均
	北海道	東北	関東	甲信越・北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄		
対策をしている	9.1%	9.2%	15.4%	11.1%	12.7%	12.4%	4.8%	7.1%	12.2%	
対策をしていない	90.9%	90.8%	84.6%	88.9%	87.3%	87.6%	95.2%	92.9%	87.8%	
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

「具体的な対策をしている」と回答している方は、全体平均では2012年11.5%に対して、2014年12.2%と0.7ポイントの微増に留まるのに比べ、東北エリアは2012年5.8%に対して、2014年9.2%と3.4ポイント増加（2012年比158.6%）していることが分かりました。更に東海エリアは2012年6.0%に対して、2014年12.7%と6.7ポイント増加（2012年比211.6%）となり、「地震」に対する不安度が高い地域において、ペットの防災対策の実施率が高まっていることがうかがえます。

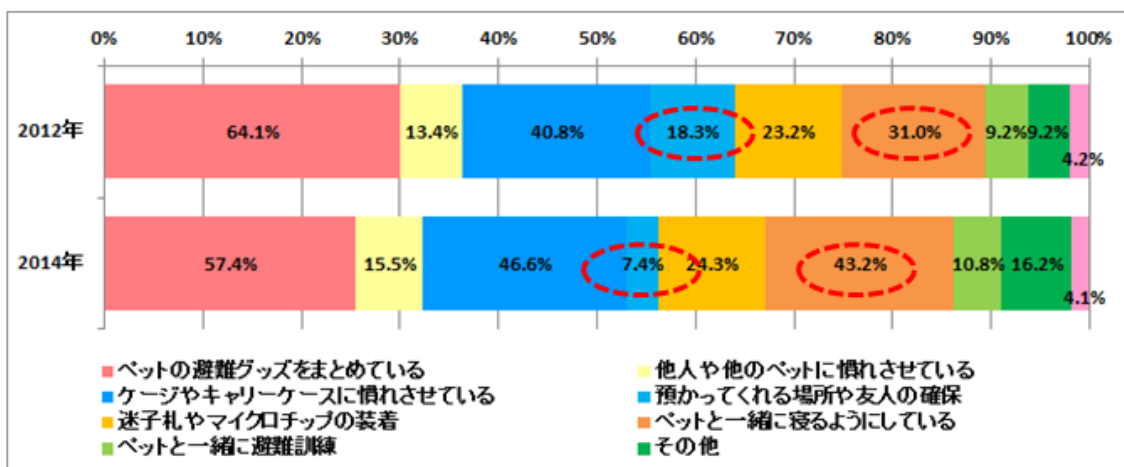
■ペットの防災対策はどの程度十分だと感じていますか？

※十分できていると思う場合は10点、十分できていないと思う場合は0点で算出

北海道	東北	関東	甲信越・北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄	全体平均
3.4	3.2	3.5	3.0	3.2	3.4	3.0	3.1	3.3

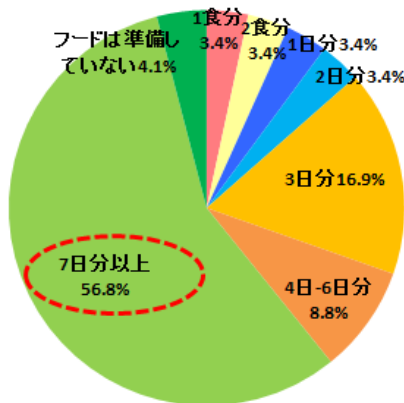
全体平均で3.3点とペットオーナー自身と比べ、ペットの防災対策を不十分と考える方が多いことがうかがえます。また、全体の1/4（24.0%）の方が0点（全く十分ではない）を選択しており、ペットの防災対策について改善の余地を感じているペットオーナーが多いようです。

■ペットの防災対策として日ごろ行っていることはありますか？（複数回答）

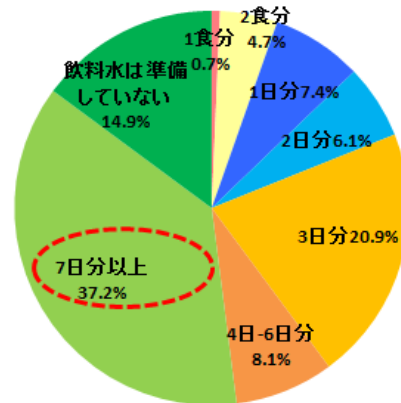


「ペットと一緒に寝るようにしている」と回答している飼い主が増加。万が一のときに側にいることを意識していることがうかがえます。

■準備しているペット1頭あたりの食料

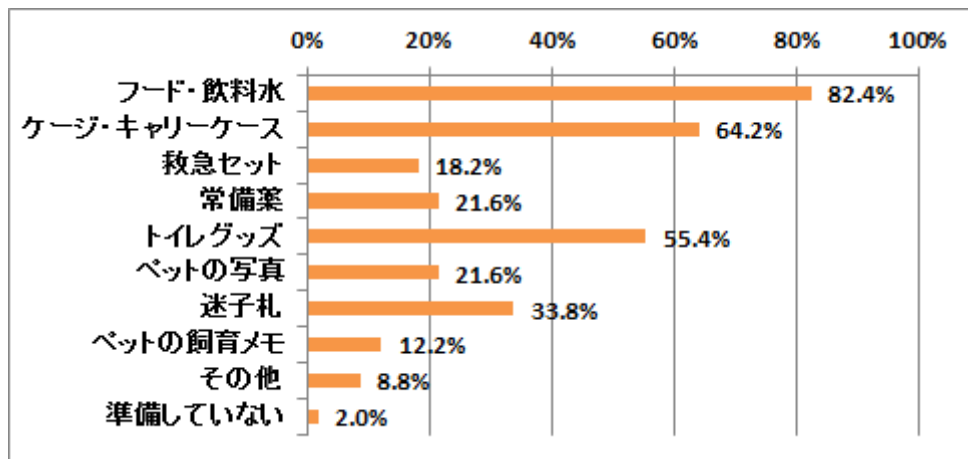


■準備しているペット1頭あたりの飲料水



ペット用に「フード」「飲料水」とともに「7日分以上」が最多となり、普段から多めのストックをこころがけるペットオーナーが多いようです。

■ペットのための防災対策として準備しているグッズはありますか？（複数回答）



「フード・飲料水」「ケージ・キャリーケース」「トイレグッズ」の3点セットはペットオーナーにとって防災グッズの必需品とうかがえます。また、「迷子札」や「ペットの写真」など離れ離れになってしまった時でもペットの識別ができるように工夫しているオーナーの姿も見受けられます。

■上記の防災グッズ以外にあると便利なグッズを教えてください。（フリーアンサー）

第1位:ブランケット・防寒具	19.2%
第2位:缶詰・保存食	10.0%
第3位:サークル	9.2%
第4位:首輪・リード	8.5%
第5位:GPS・チップ	5.4%

寒さ対策を重視し、全体の19.2%の方がブランケット・防寒具との回答。また、いつものフードだけではなく、長期間保存でき、持ち運びしやすい缶詰や保存食が便利という意見も多数。

■上記回答例の中から抜粋意見

- 寒さ対策用にフリース素材のブランケット。(40代・女性)
- 缶詰やドライフードは普段から多めにストックするようにしています。(60代・男性)
- 大きめのゲージがあれば、避難所でも入れる。(50代・男性)
- ガラスの破片やがれきから足を保護するための靴。(40代・女性)
- ペットの排泄物を処理するためのビニール袋。(60代・女性)
- 発光する首輪とGPS付きタグがあると便利。(40代・男性)
- 水のいらぬシャンプーやブラシなどのケア用品。(30代・女性)

2011年の東日本大震災以降も続く余震や今後想定される大規模地震などを意識して、ペットオーナーは自身自身のことはもちろんペットとの災害時・災害後の生活について、様々な対策を講じている姿が想像されます。東日本大震災からもうすぐ3年が経とうとしています。3月11日を迎えるにあたって改めて防災意識を高め、災害時に安心してペットと一緒に行動できるように事前の準備をこころがけてはいかがでしょうか。

本調査結果に関するお問い合わせ先
ペット&ファミリー少額短期保険株式会社 経営企画部 佐藤
電話：03-5844-1120
URL：<http://www.petfamilyins.co.jp/>